

# ¡VIVA MÉXICO! 5月

日墨戦略的グローバルパートナーシップ 広島大学総合科学部 田代涼

さあ5月だ。

五月と言えば日本だと「五月病」という辛い病魔に多くの人が苦しめられますね。ゴールデンウィークの後や、新たな環境に慣れるにはまだまだ時間がかかりますよね。一方メキシコでは「大気汚染」に苦しめられました。もともと大気汚染が深刻化していたメキシコ



ですが、五月になり、PM2.5の安全指標の6倍になったことから、学校が3日間ほど休みになり、結局土日を挟んだためちょっとした連休になったりもしました。屋外のスポーツの練習が禁止になったり、街中では日本のインフルエンザが流行中のときのマスク以上により頑丈なマスクをつけた人がいたり、かなり深刻なのだということに驚きが隠せませんでした。とい

うのも、この環境に慣れてしまい、汚染された大気にあまり気づけなかったというのが一番怖かったです。日本ではメキシコほど大気汚染は問題視されていませんが、このように実際問題が起きている場所にいたことで、他人事ではいられないなとつくづく感じるようになりました。しばらく雨が降らなかったのも一つの原因であると言われていています。雨が降った時は嬉しかったです。

## 念願のルチャリブレ

メキシコに来てずっと行きたいと懇願していたルチャリブレによりやく行くことができました。いつもお世話になっている広島県人会の平田ビクトルさんに連れて行っていただきました。ルチャリブレ

は日本語でいうとプロレスです。

「Lucha=戦い」「Libre=自由」つまり、自由な戦い、そのものですね。まず会場である Arena México に着いて驚いたのは、会場の外にもものすごい人がいたことです。また日本人も多く見られたのですが、その日はメキシコの大物レスラーと日本人レスラーが出



場していたそうです。正直日本にいるときからプロレスに興味があったわけではありませんが、このようにメキシコと日本それぞれの

国民的な大衆文化が混じり合う瞬間は感動的でした。ルチャリブレはメキシコのスラング学校のようなと言われるように、みんな野次を飛ばします。お年寄りであろうが、若かろうが関係ありません。また面白かったのが、指定席であるのにもかかわらず、席で揉めるメキシコ人で



です。日本であれば、間違っていない限り指定席であれば滅多に揉めることはありません。会場に着き席に座ろうとすると、そこにおばさんと息子さんが座っていました。チケットを見させてもらおうと、番号は同じでした。しかし確認すると、彼らのチケットはエリアが違いました。それでもおばさんは意地でも動こうとしません。あと一歩でルチャが始まってしまうところでした。というのは冗談ですが。メキシコの新文化を見ることができ、またメキシコが好きになりました。ビクトルさんありがとうございました。

